

ながおか・放課後子ども通信

令和8年9月8日発行(vol.12) 長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども政策課 ☎0258(39)2393

休日や長期休業期間は、子どもやご家庭の判断で自由に過ごし方を選択でき、日常とは異なる環境の中で多様な学びや体験に触れることができる貴重な機会と捉えます。長岡市内では、地域の皆様や関係団体、企業等との連携により、子どもの学び・体験の充実に向けて様々な活動が展開されています。地域全体で子どもの成長を支えるための皆様のご尽力に感謝申し上げます。

今回は令和8年度前半の休日や長期休業中の活動からいくつか紹介します。冬期休業や年度末休業を含む今後の活動を計画される際の参考にしていただければ幸いです。

夏休みの楽しい思い出を、地域でつくる

表町まちなかコミュニティ食堂代表 高橋 和美

長い夏休み。給食がないことで、一人でお昼ご飯を食べる子どもがいませんか。また、夏休みが終わり学校が始まることに、少し不安や憂鬱な気持ちを抱える子どももいませんか。

そんな子どもたちに、夏休みの間も友達や地域のひとと顔を合わせ、みんなで楽しく食事をする時間を過ごしてほしい。そんな思いから、夏休みランチビュッフェを開催しました。今回は学校の先生方にもお声がけし、地域・学校・児童クラブがつながりながら、子どもたちを見守る機会になればと考えました。食事を楽しむだけでなく、宿題や学校生活など、困っていることがあれば誰かに話してみることで、気持ちが少し楽になることもあります。分からないことは、決して悪いことではありません。「分からないから教えてください」と言えることは、とても素晴らしいことです。そんなことも子どもたちに伝えていけたらと思っています。

地域の皆さまのお力をお借りしながら、子どもたちが「ここに来れば安心できる」と思える第三の居場所をつくりたい。そして、いつか子どもたちが「この地域で育ってよかった」と思ってくれるような、温かいつながりを育んでいきたいと願っています。

みんなで囲む食卓が、子どもたちの心に残る楽しい夏の思い出の一つになれば嬉しく思います。



【ビュッフェスタイルで】



【リラックスした雰囲気の中で】

放課後子ども教室 ～休日・夏休み中の活動より～

びしょぬれわんぱくサマー（与板） 7月11日（土）

安全管理員 照井 雅嘉



【次の楽しみが待ちきれない】

年5回、土曜日に季節の行事を開催しています。7月は、水遊びや昼食作り、屋内スポーツなどを行いました。活動を通して、班の一人ひとりがさまざまな人と関われるよう、各班には小学生の頃から活動に参加している中学生・高校生のジュニアリーダーや大学生のサポーターと一緒に参加しています。ジュニアリーダーや大学生サポーターは、子どもたちの成長や新たな発見など、日常ではなかなか味わえない感動を楽しみながら、子どもたちの活動を応援しています。

自然エネルギー（宮内、上組）7月29日（水）他3回

学習アドバイザー 向後 泰彦



【用水路で発電 ライトが点きました】

一般社団法人「ながおか自然エネルギー」の向後です。放課後子ども教室で、「自然エネルギー教室」をさせていただいています。未来の社会を担う子どもたちに自然エネルギーについて考えてもらいたいと思っています。子どもたちは「ピコピカを用水路に入れたら、ライトが光ってすごかった」「ソーラークーラーに置いておくだけで、100度になった。パウンドケーキが焼けておいしかった。災害の時にも使えると思った」と嬉しそうでした。

問題解決勉強会（山通）8月20日（木）・21日（金）

コミュニティセンター主事 飯田 加恵



【勉強 vs. カルタ どっちも全力】

夏休みの宿題で分からなかったところや、今までの学習で苦手だったところを中心にサポートしました。参加者は少数だったので、一人ひとりの理解に合わせて、きめ細かく支援することができました。集中力が途切れないよう、合間にゲームを取り入れるなど、楽しく学べる工夫も行いました。学習を進める中で、子どもたちは苦手な部分や課題に気づき克服しようと頑張りました。子どもにもスタッフにも充実した良い時間となりました。

ハンドベル(宮内)

6月20日(土)

講師の演奏を聴いたりクラシックの曲や春夏秋冬それぞれの曲、「勇気100%」の演奏に合わせて歌ったりしました。ハンドベル体験では、きれいな音を出すのは大変なのだと感じたようでした。



ドローン操縦体験会(阪之上)

6月27日(土)

専用のドローンを操縦し、リング状のゴールを通過させて得点を競うドローンサッカーを体験しました。最初は難しかったようですが操作に慣れてくると得点する楽しさや達成感を味わっていました。



バルーンアート(日越)

8月6日(木)

昨年に引き続きの開催でした。少しでも多くの子どもの体験してもらうため、今年は2部制にしました。バルーンを膨らませた後、ひねりを入れて作りました。剣、花、犬の3種類ができました。



児童会館・児童クラブ～夏休み中の活動より～

歩いて5分の中央図書館に行ってきました

附属長岡小児童クラブ 主任 山下 久美



【借りたい本を探しました】

附属長岡小児童クラブは、毎日40名ほどが音楽室の中で過ごしています。夏休みはそれが一日中になります。

単調な生活に変化をつけるため、隣接する中央図書館を利用することにしました。利用経験のある児童も居て、慣れた様子でパソコン検索したり、開催されていたビンゴに挑戦したり、楽しく過ごすことができました。

正しい姿勢で速く走れる

日越児童クラブ 主任 田中 由香



【姿勢とバランス】

毎年夏休みはいくつかのイベントを行います。今年は「走り方教室」のお話を頂きました。毎日元気に走り回る子どもたちにはピッタリのイベントでした。

速く走るための基礎(バランス、バネ、姿勢が大切)を教えて頂きジャンケンゲームも取り入れ教わった事を「意識しながら走る」を繰り返し、全身を使い気持ち良い汗をかきました。

子どもフェスティバル ～6月14日(日)～

アオーレ長岡にて『みんなでつくろう～楽しさ・体験・交流を～』をテーマに、第55回子どもフェスティバルを開催しました。長岡市子ども会連絡協議会に所属している中学生26名と高校生5名のジュニアリーダーが、イベントのナビゲーターとして活躍しました。

ポイントラリーや「日本ボーイスカウト」のモンキーブリッジ、「長岡技術科学大学のサークル TEC・SCOP ながおか」の防災すごろくなどの体験広場もあり、目をキラキラ輝かせながら真剣な表情で取り組む子どもたちと、それを温かく見守るご家族の笑顔で包まれました。



【モンキーブリッジ】



【モルック】



【防災すごろく】

放課後子ども教室実務担当者情報交換会 ～6月25日(木)～



【全体での意見交流】

放課後子ども教室の実務担当者で情報交換会をしました。全体での意見交流では教室ごとに地理的条件や人的条件、実施プログラム等の違いはありますが、ケガ・嘔吐への対応や救急セットの用意、教育サポーターの確保等の事例が紹介されました。グループごとの話し合いでは企業やサークルとの連携、人気のあるプログラム、効率的な事務作業の進め方等、様々な話題で盛り上がりました。

また、事後アンケートでは、放課後子ども教室の活動の中で目にした子どもの姿や実務担当者を感じる喜びについて以下のような記載がありました。

- ・工作では友達と話しながら自由に制作に取り組み、共同用具の使用などでは譲り合いながら自分のカラーで作品をつくる。完成すると嬉しそうにお礼を言って帰る。
- ・サークルの皆さんと子どもが名前前で呼び合う関係が生まれ、登下校時にもあいさつを交わすようになったことで少しずつだが地域とのつながりが深まったように思える。
- ・子どもが楽しそうに活動している姿を指導者、安全管理員が喜んでいる。これが good。

これからも関係者の連携を密にして子どもたちに「学びの場」を提供し、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進していきたいと考えます。

放課後子ども教室の開設に興味があるコミュニティ関係の皆様、特技・経験を生かして学びの機会を提供する学習アドバイザーや見守りをしたり一緒に活動したりする安全管理員に興味のある方は、お気軽にご相談ください。

問い合わせ先：子ども政策課児童育成班 Tel.0258(39)2393